

# 二人の父

名古屋市松若幼稚園 石田 田 馥

こゝに記載いたしましたものは我幼稚園に登園しつつある男児の父兄の教育主義でございます。して此父兄等は、兄弟関係でありまして兩家何れも佛法信仰あつく、一家圓滿にまた格別の、親交を結んで居ります。

然るに父として子に對する教育法が、極端なる反對説をもつて居ります爲に、時々意見を戦はし、激烈なる議論をいたすそうでございます。この父兄達は、時々園に参りまして、其主唱を誇張し、或は各目に或は同時に、私に向つていろ／＼の質問をなし、時のうつるを知らぬ有様で御在ます。私は、常にその中庸説をもつて、其場其場の解決を考へて居ます。今夏大坂に於て、開催されました講習會に、出席致しまして、計らずも、倉橋先生に、御目にかゝる光榮を得ましたから、日頃困つておりました此問題を御耳に入れ、何れがよるしいかを伺ひましたら、先生は、兩者の説が、最も意義あつて有効だと思はれるから、誌上に記載すべしと仰せ頂いたので、厚かましいとは思ひましたが、この如く駄文を

省みず、ありのまゝに記述いたしました。尚ほこの父兄達の家庭、職業、その他の有様を御参考までに記しておきませう。

關係及名教育程度 幼兒名 教育主義 職業

弟 匿名中等教育以上 アキヲ長男 早教育 醬油薪炭問屋

兄 匿名中等教育以上 シノ長男 自然尊重 帶地半袴商

大正十三年三月

保姆

あなたのお子さんは、何でもよく知つてお出になり、且つよくわかつておいでですね、何かお宅で教へておいでになるでせうか。

客

ハイ、私は多少主義とでも申すものをもつて教へております、凡て物を造るには、いろ／＼な方面に心を注がねばならないことですが、最も大切な事はその基に心を用ゐると

云ふことが肝要でありませう。假に家を建てるにしても、基礎工事が大切であり、一つの機械を造るにしても、その一つ一つの材料に注意することや、女子が裁縫をするにしても運針練習が最も必要 であると云ふことは、疑ひのないことで完成に達する遂行として、ごく大切なことであります。況して、萬物中最高の人間であつて家を營み、社會をなし國家を造る上に、人間として大なる訓練を要する事でありませう。

たゞ、ほんやり、大きくなつてさへ行けば人には成ると云ふ様な、簡単な考では居られないのです、勿論寝かせて、着せて、食べさせて、學校や幼稚園へお任ししておけば、人にはなるでせう。然し、教育といふことはあらゆる環境の刺激から、出来るものでありますまいか、黙つて子供の成行を眺めてゆくといふことも、自然を尊む上に大切なことでありませうが、あの火を熱いとも、水を冷たいとも、わからない子供を教へずにはゐられないと思ひます。

保母

大變結構な御意見から起つた教育法ですね、して環境に對

する御意見も承りたいものですな。

客

私は常に申します、幼兒をとり巻く凡ての環境が、語らざる教師であらうと思ひます。

即ち、家庭、社會、幼稚園などのあらゆる見聞は、何物かを教へて呉れます。

私方は職業上多くの荒男をおいてあります、彼等は労働の餘暇にはあられもない言葉遣ひで、一向選擇しない事柄を無雑作に喋舌るものでありますが、斯様な群へは只の一度も交へたことがありませぬ。

環境を整理するといふことは、教育上最も必要なことであらうと思ひます。

保母

それは御尤もな事です、私達園に於てもこの環境といふことは充分注意して居ります、して只今お話になつた教へると仰せられるのは、如何なることでありますか。

客

元來私共の子供は何にでも、興味をもつて質問しました、

三歳位からでした繪を見ても、玩具をみて、之なに、あれ何、といふ風に非常に興味をもちました。

私は、子供だからとか、うるさいとか、大人と心理が違ふからとか、といふ考から誤魔化しを教へるといふことは何としても、出来ないであります、少なくとも、正確に知識を授けたいと思ひ、つとめて、平易に教へました。

例へば、

いつの頃にか覚えませぬが、

「お父さん、お煎餅は何故にしめるのか」と尋ねました。私は

前に一度いつて上げたことがありますね、川や海の水、や鹽の水が、お日様のあたゝかいおひかりに、づん／＼天の方へ上つてゆきます。これは、火鉢にかけた鐵瓶の口から白いゆけがたつ様に上るので、又洗つたおべべがいつの間にか乾くのも、お日様が水をおとりになつていらつしやるのです、その水がこゝらあたりに一パイ煙のやうにちつてるのを、お煎餅が吸取紙のやうにすふのです。」といつてやりましたら、大變満足したやうに思はれました。

## 二人の父

其他、電車の動くことや、雲氣の火のつくことや、いろいろな化學的のことを、質問しますので返答に困りますが、興味中心に出たものは、出來得るかぎり答へてやつております。

保姆

之も亦結構なことです。ねいは、常識を豊富にして、おやりになるつもりですね。

客

單に常識を豊富にしてやるといふ譯ではありませぬが、小さい子供の中から、出來得る限り見聞を廣めておきたいと思ひ、興味から湧いたものならば、文學も教へてやりませうし、數の觀念も與へてやります、又お話の仕方なども、教へてやります。

保姆

さうすれば一種の早教育ですね

客

さうことごとく申されれば、早教育ですが、興味から起つたものなら、或程度まで教へてやりたいと思ひます。

木村久一先生の早教育は天才を造るといふ御本や、鳩山女史の我子の教育や、エミールなどを拜見しても、私の欲する所を表はしてあります。

保姆

それで判りました、よく知つておいでになるので、餘程教へて有ると思ひました、小さい時から知識を豊富にすることは眞に結構なことでありますが、しかし、私共の考へる幼稚園としては、子供をなるべくありのままに、育て、行くといふことを重んじておりますから、其邊にも多少お心をお用ゐ下さいまして、興味から起らないものは、決して教へて下さらぬ様お願いしたいものです。

客

御尤もです

して子供に對して先生の御觀察を、伺ひたいです。

保姆

さうですね、大體彰さんは、活動性の強い方であつて、僅かな時間で、あれも、これも、といふ風に、コセくした所があります、又何をさせましても、キチンと出来ます、

又お尋ねすることも、ハツキリお答が出来ます、繪などもよく書きますね、しかし、積木や、粘土細工の様に幾十分續いても興味のつゞく、製作活動の持續性が少ないと申してもいいでせう、ヤヤ、あきつほい、といふ言葉がわかりやすいでせう、又お話などは少々長いものでも熱心に聞いておられます。

客

左様ですか積木や繪本に、随分興味をもちますがね。

何を、いつでも家庭では、自由放題にしてございますから氣儘でございませう。

常にどういふお子さんと遊びますか。

保姆

最も元氣なお子さんとお遊びになりまして、いつも大將株を握つて、おられます。

客

家庭に居りまして、近所の大きいお子さんとのみ遊びまして、自分が特權を握つて我儘をしてゐます。苦笑  
いろく、つまらぬことを申しましたが、もう今年一年し

かお世話になられませぬから、充分御注意下さいまして、  
家庭教育の缺陷を、補つて頂きます様、お願いいたします

四月十日

保姆

彰さんのお父さんは中々真剣な早教育の、主張者でいらつ  
しやいますね、私あれほどの御思想ではないと思ふてゐま  
したね、御主義に對する眞面目さに敬服されますね。

容

エイ弟は、眞に早教育の主唱者でありましてね、  
もう彼れの家に參りますと子供に、それ茶わんはこんな  
種類があるとか、土びん等も亦澤山の種類がある、これは  
なに、あれはなにといふ風に、又戸棚の様なものでも、上  
にあるのは袋棚といひ、下にあるのは地袋といひ、戸障子  
に必要な溝でも、上は鴨居、下は鬮と一々直觀教授に忙  
がしいのです

保姆

而し弟さんは、興味中心から欲求に對しての、満足をお與  
へになるのではないでせうか。

二人の父

容

ですけど、子供にんだか氣の毒な様な氣がしますわ。

保姆

してあなたは何んな御意見ですか。

容

私もそれについて先生にお伺ひしたいと思ふて居ります。  
私は弟と絶對反對の主義でございます、子供は子供らしく  
自然の法則に従つて伸ばしてやりたいです、子供は大人の  
師匠と申すが如く子供ほど伶俐なものはありませぬ、教へ  
なくてもよく知つて居ります名前などのむづかしいものは  
大きくなれば自然と判つて來ます、小さい時からヤイ／＼  
云ふて教へては身體を損ふ許りで、何の役にも立ちませぬ  
子供時代は、主として身體を健全に進めたいと訓練するの  
が最も大事なことであります、しかし子供が求めやうとし  
て自發的に出たものは、之を無理に抑へようとは致しませ  
ぬ、昨夜も弟と、教育法について大に議論を致しました。

保姆

あなたの御主張も實に尊いものですな、御兄弟揃ひも揃つ

二二五

て熱心な、主義ある教育法でお育になる事は、結構ですね  
實に我々に強い鞭撻を加へて頂くわけですね。

客

そんな立派な主義ではありません、たゞ決して大人から嘴  
を入れたくない子供の自由に任したいのです。五歳になつ  
ても六歳になつても、子供が發動するまで氣永に傍觀する  
といふ考なのです、例へば、畫を描かうと欲しない中に、  
描きなさい描きなさいと、鉛筆をもたすのでありません、  
描かんとして鉛筆を持つた時、始めて畫に對する興味を添  
へてやります。

ですから、如何なるものに對して興味や意志の起らぬ内は  
決してすゝめないで打捨て、おきます。

若し弟の如く、それ、雨はどうして降るとか、雪はどうし  
て降るとか汽車や電車の動くわけはかうしてとか、といふ  
わけで、つめこみますと、豊富な知識の收得は出来ませう  
が、小學校の五六年になつて、それが果して有効に働さま  
せうか、却つて害になりはしないかと、又身體にも障りな  
きやと、うたがふのであります。

私には、今年十四歳になつた長女があります、自分の主義  
と致しまして、幼稚園へは出しませんでした、尋常五年迄  
は、ほんとの放任主義の極端性を帯びてゐました、今頃は  
どの様なことを習つてゐるか位はきいてやりましたも、そ  
れをおさらいさせるといふことをしませんでした、學期々  
々に頂いて來ます通信簿を見て、悪い點が記されてあつて  
も、一言叱つたことありませんでした。

ところが、六年生になつて、中等學校へ入る入學準備をせ  
ねばならぬといふ考が、親にも子にも起りました、もう身  
體が大丈夫だからと思ひ、餘暇には先生に御教示を願ひ、  
日夜寸暇さへも造らぬ程に、私が教へてやりました。

親も子も一生懸命になつて、それ國語、それ數學、と毎夜  
十時過ぎまで勉強させました、處が第一志望の女子商業學  
へ優秀なる成績で入學しました、それからといふものは自  
習自學で、すん／＼進んで参りまして今年二學年ですが毎  
學期よき成績を頂いて参ります。

保姆

まあ、それは結構でした、御主義から起る努力の結晶で

ございます且つ、御主義が益々確信された譯ですね

客

アハ、ハ、ハ、大變立派な様ですね、

如何です私共の子供は、よそさんのお子さんとは大變違つておるかと思ひます、元來無口で黙つて暮せば、一日でも二日でも無言で、ゴト／＼獨りで玩具や繪やで何時間でも遊んでおります、そこへ大人が質問でもしますれば答へませんが、大概は黙々として暮してゐます。

然しこちらから命じた事は靜かに眞面目に試みてゐます、又お客でもありまして、長時間談笑してゐても其間父母の側に黙つております。

私は兼て芝居見につれて參りました、其時などは、開演中幾幕あつても大人よりも眞剣な態度で、凝視してゐて家に歸つてから訊いて見ると、大體の筋がすっかり判つて居りました、勿論、舞臺語などは判りさうもないでせうが、表情や何かで意味が判つたらしく思ひました。

保婦

ほんとに無口でゐらつしやいますね、御様子といひ動作と

いひ悪くいふと、大人くさい所があつて、凡て物に對して「つまらない」と云ふ感じをもつておいでになるかと思はれます。

客

へー幼稚園へ伺ひまして二三日すると、「お父さん幼稚園で遊ぶところね」と不思議さうに申しましたから、「何故に」と尋ねましたら、「何か習ふところかと思ふた、何か習ひたいわつまらない」といつたので、之では困ると思ひ、つとめて面白く遊ぶ様にいろ／＼の手段をとりて、毎日御邪魔とは思ひながら、參園して手をとつて遊ばして頂いて居ります。

保婦

まあ、驚きました、そんな爺くさいお子さんは一寸ありませんね、遊ぶのが面白くて／＼、お歸りの時間がくると、もつとおりたいナと、袖にすがる子供さへ多くあるのに、なんだか新ちやんには、「すまない」といふ氣がします。御入園になつてから十日ほどたちますが、一度も笑はれたこともなく、勿論お友達もなく、受持の先生に手を引かれて

右往左往して幼児の遊ぶ様を熟視する位、走つて見せればお義理的に走られる位で、彰さんがどうかして遊んで上げやうと、苦心して、「新ちやん遊びませう〜」と手を引かれても、たゞ之もお義理的に走つても、見たり何かする位で實にお氣の毒な様です、もう古い男兒の遊びは大分計畫を立て、戦争ごとや、汽車ごとをしたり、惡漢退治などと、社會生活の模擬的遊びをいたしてゐますから、その中へ新ちやんを誘ひに参りましたが、一時は誘はれて、廣い部屋の方へ参れますが活動性に富んでゐる。子供達は靜止性の新ちやんにいつまでもつきあつてることが出来なくなつて、手を放して打ちやつてゆくの、忽ち新ちやんは女中さんの許へ走つてゆかれるといふ風です

客

困つたものですね、何うしたらよいでせうか、餘り無干渉であつたことが悪くあつたのでせうか。

學校へ出ましたらさぞ先生に御迷惑をかけることとせう、又自分も難儀することとせう、私は前にお話しました如く自然主義をとつて居りましたから、弟が幼稚園へ御頼した

ら如何かと度々勧めてくれましたけれど、敢へて御厄介にならうとは思ひませなんだが、今年に入つてから又勧めましたのでそれでは試みに出して見ようかとも思ひ、かたがた幼稚園の本質も知りたいと思ひましたね。  
私も商業上種々の用事もあり多忙ですが、子供の教育には何物にも代へられぬので、店員一同に任して御迷惑とは存じますが毎日お邪魔してゐたので、

保婦

幼稚園を御覽になつてどんなお感じなさいましたか。

客

ソレハ私今まで誤つて見解をもつてゐました、幼稚園の仕事といふものは、小學校の小さいものに思ひました、毎日参上して拜見してゐますと、

ほんとに先生方の態度に涙ぐましく思ひます、心から愛して下さる先生、如何にすれば幼児に満足を與へられるかと御苦心せらるゝ先生、千差萬別の幼児の個性に叶つた様におとり扱ひ下さる先生に、感謝せざるを得ないので有りませう、私は毎日宅に歸りますと、皆の者にいろいろの話をし



てやります。此間に識らず知らず大人になつて俄かに修業  
 することの出来ぬ、やさしい心、親しみの心、けだかい心  
 など養はせて頂き、お互の交際も上手になり、圓滿なる心  
 の持主となることが出来ませう。

たえず弟にきかされてゐましたことが漸く、判つて参りま  
 した、もう私でさへ幼稚園へよせて頂いたら歸ることがい

やになります阿々

五月十日午後二時

保姆

御兩家のお子様に対する、表れを一寸書きました、どこま  
 でも正反對ですね、こんなことを調べて見ると教育上非常  
 に利益があると思ひます。

新	彰	教育主發		幼児身體的表現	幼児の精神的表現
		知的に	行動に對する訓練		
自然主義にして自發活動を待つ	早教育をなし主として物の名及作用を會得せしむ (質問に應じ)	幼児の本性に逆らはず至つて放任なり自己活動盛なる時期を充分に味はしむ	身體小 筋肉緊張太 活動盛なり 體質中等 頭や大	身體大背高し 筋肉肥大 頭や大 顔色蒼白 體質中等 活動せず	多辯に近し機敏神經質にしてや氣小さし物の名意味を了解す手技出來榮良製作能力良好思考判斷力強し
靜止的の行動なれば物品の取扱など嚴重に従つて行儀至つてよく躡す					言語不明瞭不活潑反應時間遅し 終日發言せず 手技及製作能力良好最も繪畫秀越なり 没頭性强し

客(兄)

私共は子供に知識に關したことは何も教へませぬが、訓練作法に關することは口癖の様に申してゐます、ですから玩具や繪本はもう澤山に保存してゐます、物に對する眞剣さと來たら大人がかゝつても出来ませんほです、一度いひましたことはよく了解して、私が骨董品道樂者です爲いろいろの貴重品を並べてありまして、小さい時から少しもいぢつたことがありませぬ、又赤坊の時から蓄音器をきかせてやりました、數十枚のレコードに對する興味を以て、板だけ見て「何に歌」とすぐ字はよめないが明言します教育も必要ですがその子の本性も然らしめるものです、

客(弟)

私共は兄さんと是と違ひます、幼少な時から訓練も無論、必要ですが、之は大きくなれば自然わかることと思ひます三つ子時代に習つたことは、一生自分のものになつて仕舞ひます、子供が尋ねた時に、よい加減な答をして將來を考へなかつたら、後に如何なるでせう、又子供の小さい時の身體ほど大切なものは有りません、私は教へた後はウンと

遊ばせ、出来るだけ亂暴に近くてもとがめません、障子を破らうと、少々大切なものはどうなつてかまひません、無論家外に於て充分な身體的訓練をさせます、ですから玩具や繪本などは形はありません、呵々保姫

とにかく、どこまでも極端なる反對説でゐらつしやいますことゝ、どちらにもとりえがあります、勿論、その子その子の能力が關係して將來の人物を造り出されるでせうが、教育の効果も亦必要なることは今更疑はないことです、少しも出来ないものを捨て、おくより教育した方がよいでせう出来る子を教育すれば、尙更よくなるでせう、しかしその方法によることとすこどもの、あるものを阻害してまで教育することは有害であらうと思ひます、又幼少時代の身體に氣をつけ神經養護といふ意味からかれこれ干渉しないといふことも亦大切、ことでありませう、どちら様も餘り極端に走られては居られないでせうか、何でも真中かよといふわけではないが中庸といふことは、過がすくないと思ひます、兄さんは一方お下りになるかお上りになるかは標

準はきめられませぬが、何れの方よりも一足ずゝお進みに  
なつて、其中お二人のお顔がどちらからも見える様にせら  
れたら如何でせう。」之は淺學な無經驗な私人の考ですか  
ら御參考におき、下さいよ」しかし又子に對して親ほど予  
解が出来親切なものはないのですから、まづ過はなからで  
と思ひます、何卒各自御信じなさる處をお進みになつてよ  
ろしいでせう。

客(弟)

明日は日曜ですから、瓦斯會社へ見學に連れゆかうと思ひ  
ます、兄さん御一緒に新ちやんをお連れになつては如何、  
客(兄)

ア、明日は八高(第八高等學校)の運動會があるから見に行  
きます彰さんつれてゆかれて如何

二人の言葉は、いつ妥協するであらう。

## ○保姆資格問題の協議及促進 動運

豫ての古い問題である保姆資格の高上、従つて待遇の改善  
について、九月二十六日帝國教育會で再び協議會が開かれ

た。大阪市から村田視學、京都市から山岡園長、神戸市から  
望月園長、名古屋市から足立堀田兩園長が、特に此のために  
上京され、東京市から田中視學、小川園長、が出席され、そ  
れに帝國教育會の野口理事と本會の倉橋主幹が加つて種々協  
議し、翌二十七日は一同で岡田文部大臣、松浦次官、栗屋普

通學務局長、池田第一課長等を歴訪して、熱心に此の問題の  
促進につき力をつくされんことを乞ふた。いづれも、五分此  
の問題の内容を理解されて居ることであるから、吾々の意の  
ある處を諒とせられた。その時大臣その他に開陳した要旨は  
大體次の通りである。

一、速かに幼稚園令を定められたきこと。それつにつきては  
文部省内に於て直ちに幼稚園令取調委員會を設立せられ公  
私専門家から、その委員を任命せられたきこと。

二、現行小學校令を改正して保姆の資格を早速左の如く改め  
られたきこと。